

令和6年度第1回 長野市上下水道事業経営審議会 議事要旨

- 【開催日時】 令和6年5月31日（金） 午前10時～12時
【開催場所】 長野市役所第二庁舎8階 282会議室
【出席者】 審議会委員 14名（参集8名、リモート6名）
事務局 長野市上下水道局 17名
【公開区分】 公開

【議 事】

（1）今年度の審議会の開催予定、（2）過去の答申経過について

事務局から説明

質疑応答 ～質疑なし～

（3）水道料金の体系について

事務局から説明

質疑応答

○ 委員

・資産維持費の標準が3%とのことだが、3%が標準であることの理由を教えてください。また、他の事業体ではどのように算定しているのか。この数値は将来にわたって同じものなのか。

○ 事務局

・3%という数値は日本水道協会が示す算定要領で定めている。本市は経営戦略策定の際の財政シミュレーションにより将来にわたって安定して経営できるという試算のもと、0.5%に抑えている。また、他の事業体について広域化の検討を進めている近隣の自治体では、資産維持費という考え方を導入していないところもある。

（4）水道事業の広域化について

事務局から説明

質疑応答

○ 委員

・国から補助が出るという話は聞いているが、統合の年度は決定や目標に設定されているのか。また、国の補助の関係上、統合するならばいつからいつまでにしなければならないのか

○ 事務局

・まだ決定してない。しっかり話し合いをして決めていかなければならない。補助については、時限立法であることから令和16年度までであり、期間は最大10年間であることから、最大限補助を受けるならば令和7年度から令和16年度までの10年間となる。

○ 副会長

・広域化に関する課題として「上下水道を一体的に管理している団体における下水道事業分離による業務効率低下の恐れ」を挙げているがどのようなことか。

○ 事務局

・具体的なものではないのだが、料金徴収について、今まで上水道と下水道の料金を一体的に徴収していたが、水道事業が企業団となった場合、徴収が別々になり効率の低下が起こるのではないかという懸念はある。いずれにしても利用者や市民の方のサービス低下とならないよう、構成団体と調整していきたい。

○ 事務局

・宅内の工事の関係を今まで上水道と下水道とで一元的に行っていたが、広域化後、決定や審査・検査についてどのように行っていくのか、また、上下一体で行っている工事についても同様に今後課題となってくる。

○ 委員

・人口減少により料金収入が大幅に減少するとのことだが、長野市は人口減少しているものの、世帯数は増えている。水道料金は世帯で払っていると認識しているが、どのようにシミュレーションを行ったのか。

○ 事務局

・世帯数が増えることにより、基本料金については若干増えることはあり得るが、人口が減っているので、水量料金の部分は減少しており、令和4年度の決算でも数値として出ている。シミュレーションは過去の料金収入の実績と将来に向けた人口の減り方等を加味して実施していく。